

資料2

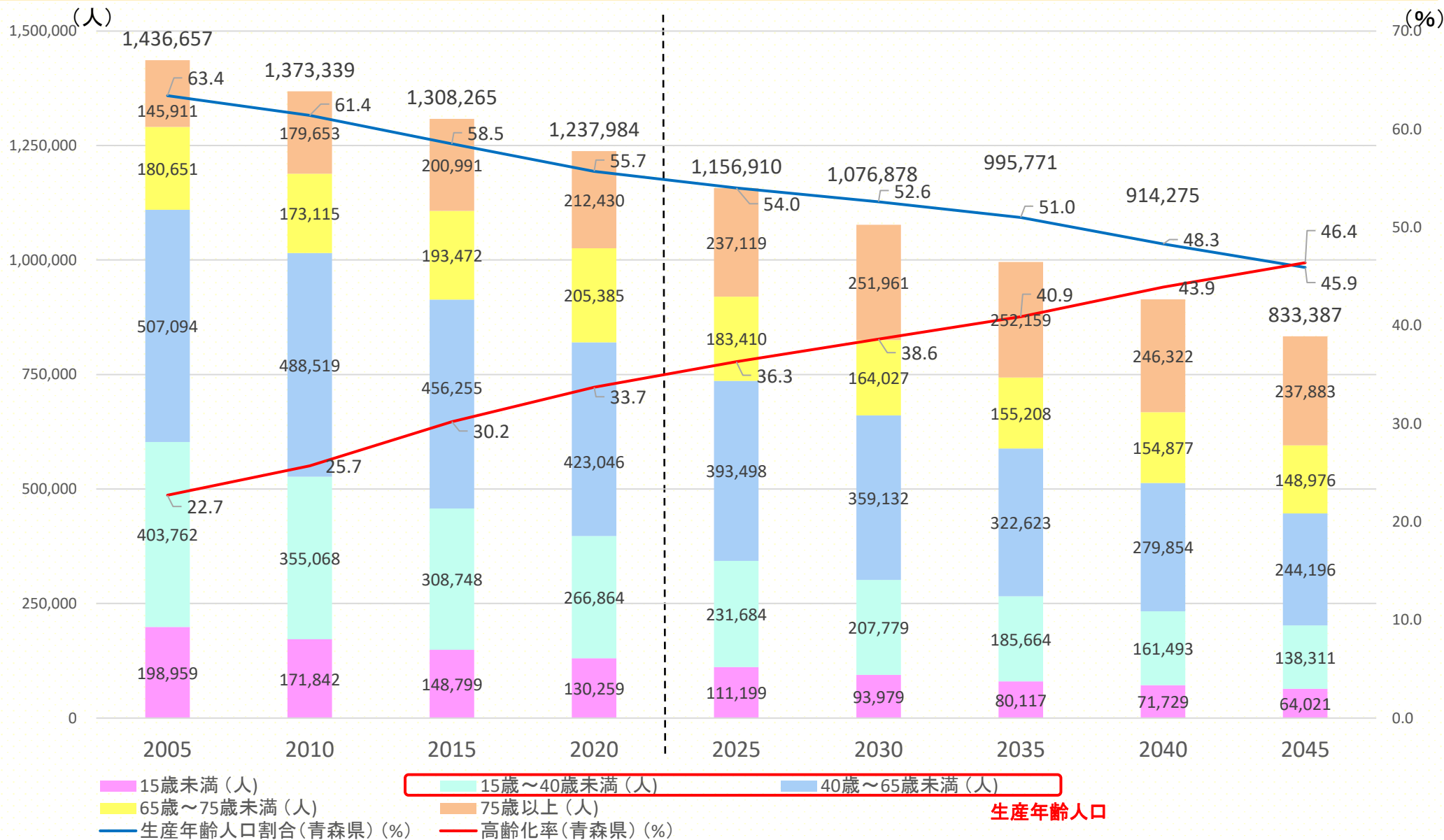
令和8年9月

第2回すこやか協議会

青森県における現状

1. 人口構成の変化

■ 高齢化率は一貫して上昇する一方、生産年齢人口割合は一貫して減少

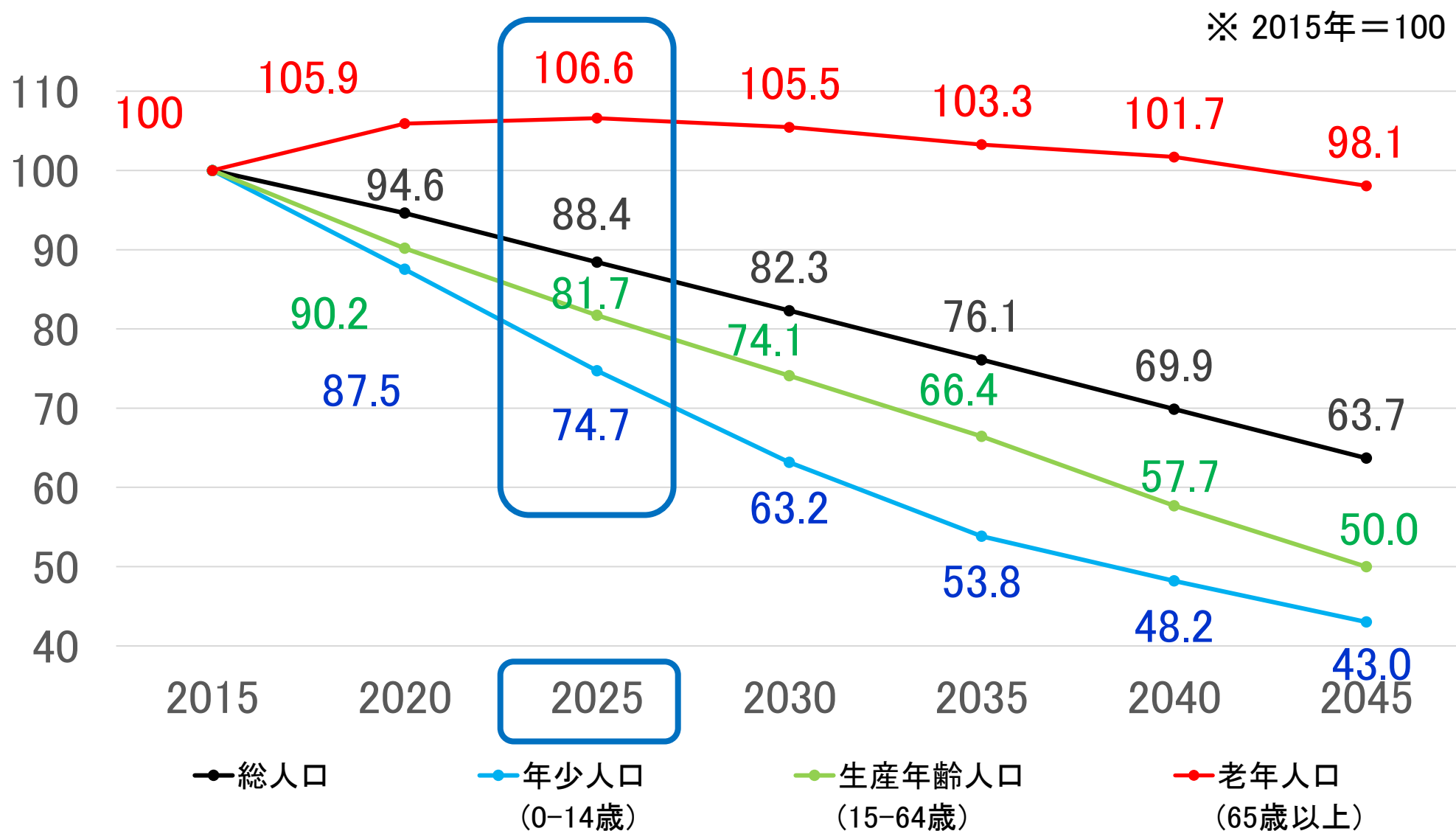


資料 2005年～2020年まで国勢調査

2025年以降: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)」

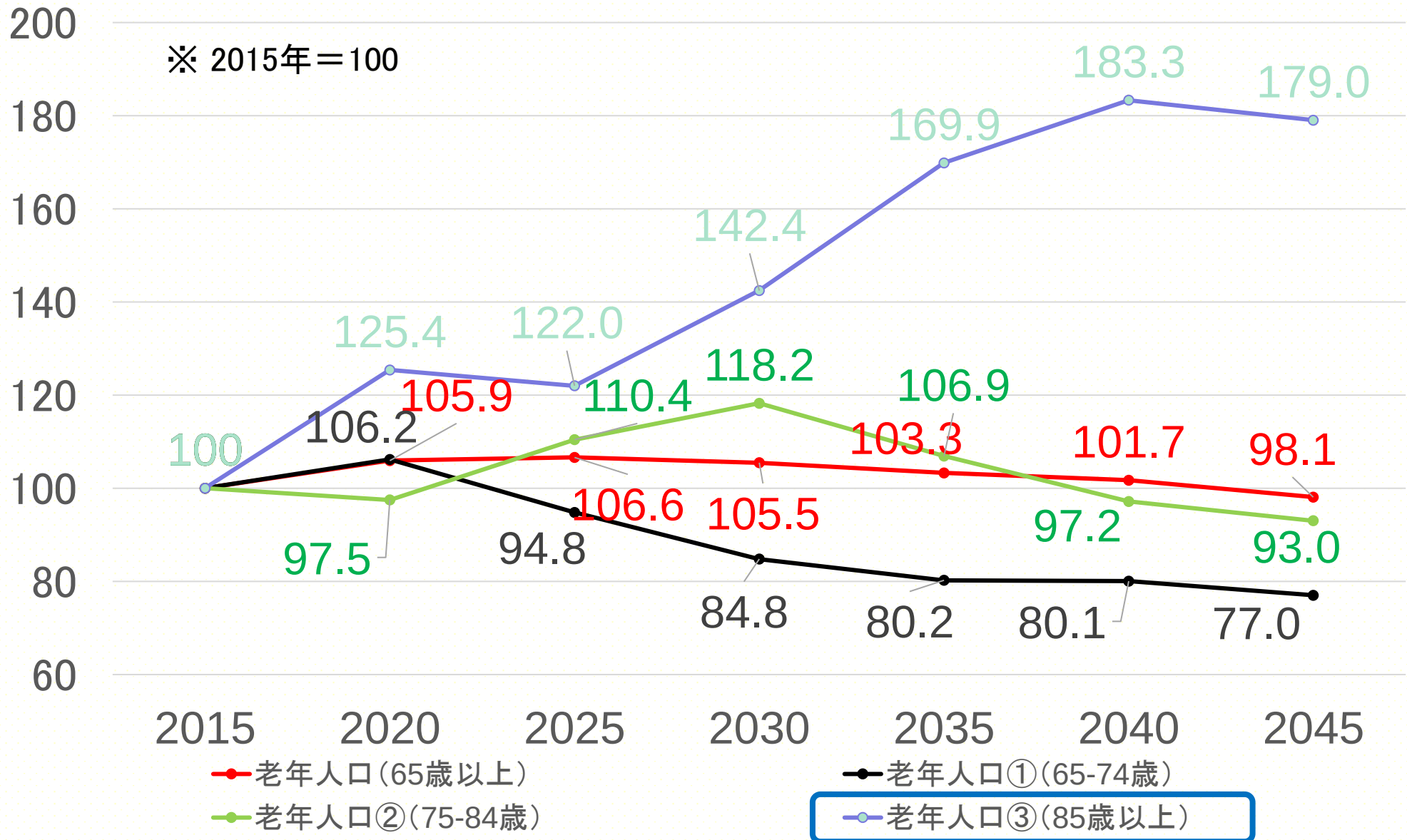
2. 人口の見通し（年齢層別）

■ 数で見ると、65歳以上人口は足下で増加するも、2025年にピーク超え



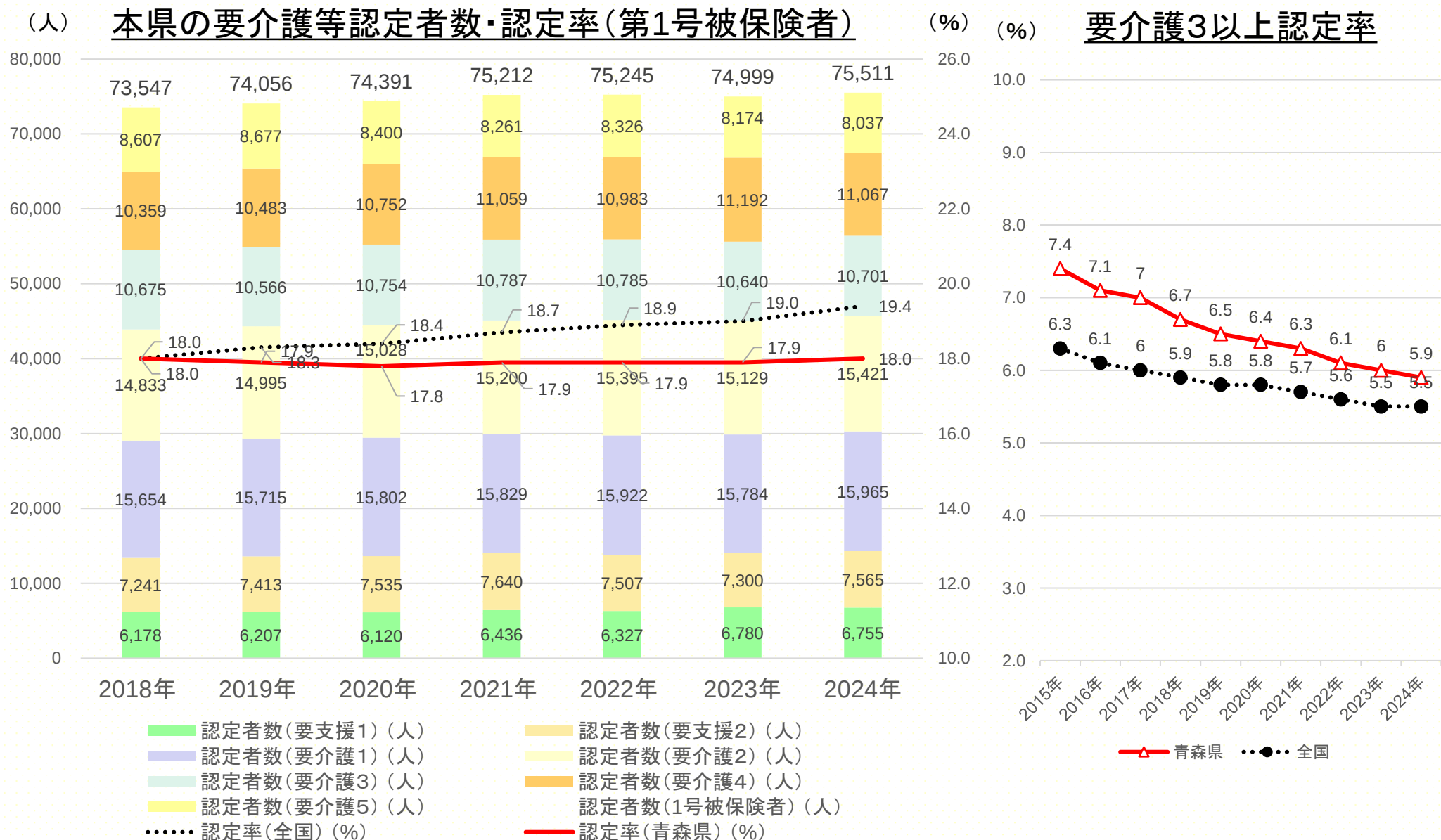
3. 人口の見通し（65歳以上、年代別）

■ 老年人口の中でも85歳以上人口は増加を続け、2040年にピーク超え



4. 要介護等認定者数・認定率

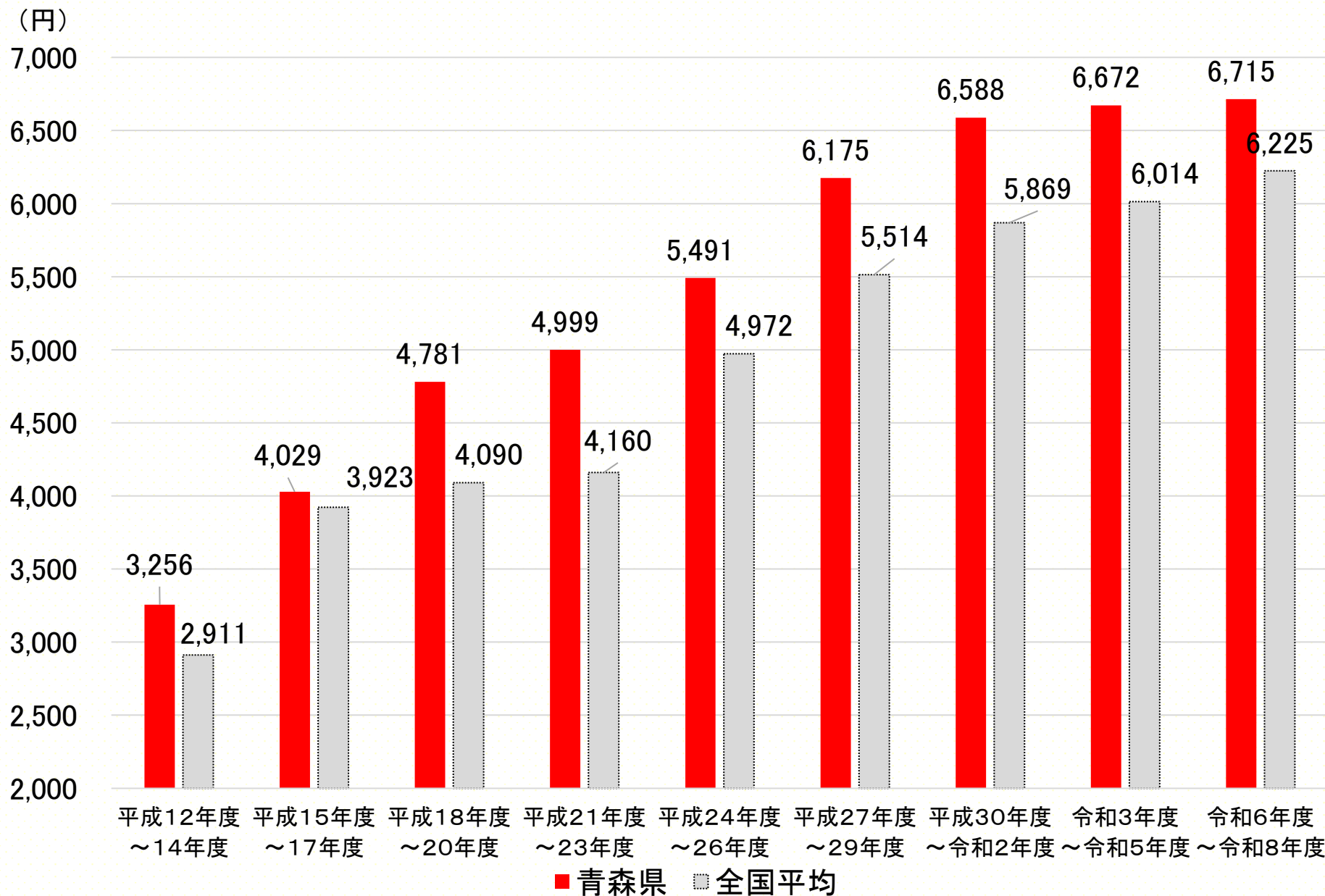
■ 本県の認定率は全国を下回る一方、要介護3以上の認定率は全国を上回って推移



資料 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(2024年度要介護3以上認定率のみ)「介護保険事業状況報告」月報

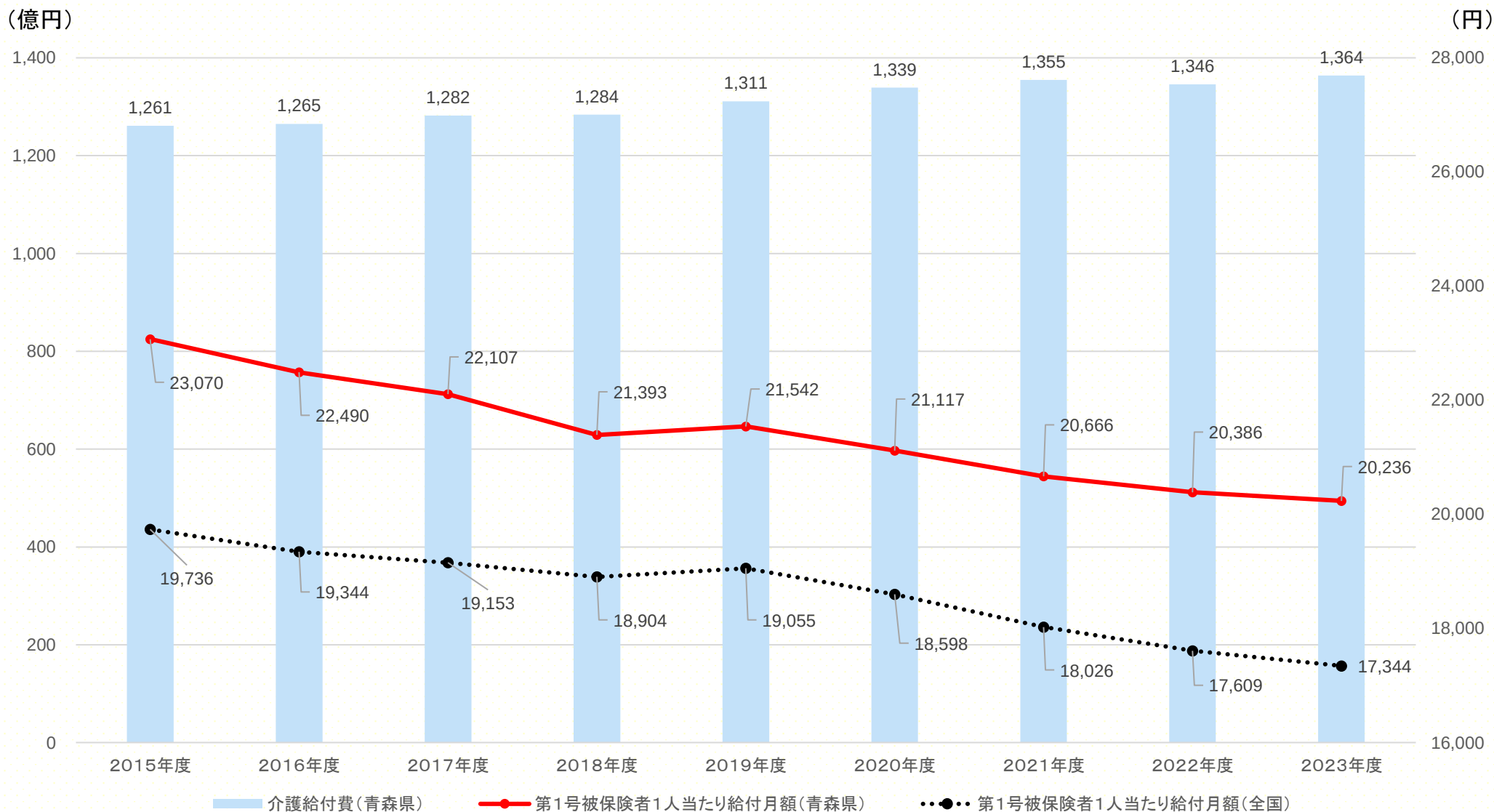
5. 介護保険料の推移

■ 本県の介護保険料は、介護保険制度開始後引き続いて全国平均よりも高い状況



6. 介護給付費の推移

- 本県介護給付費（総額）は微増傾向
- 高齢者1人当たり給付費（月額）は漸減しているが全国よりは高い水準

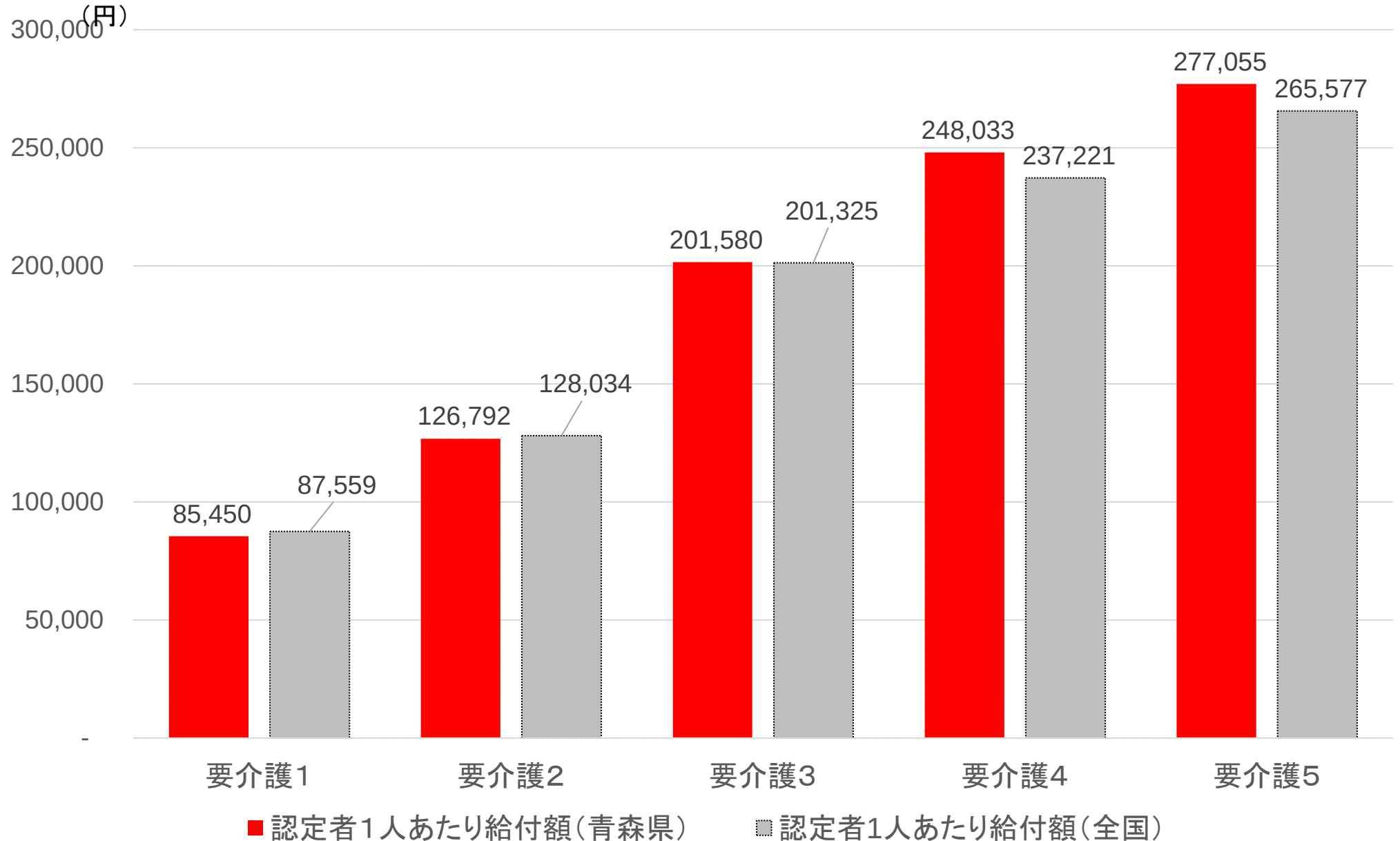


※1人当たり給付月額は調整済みの給付額

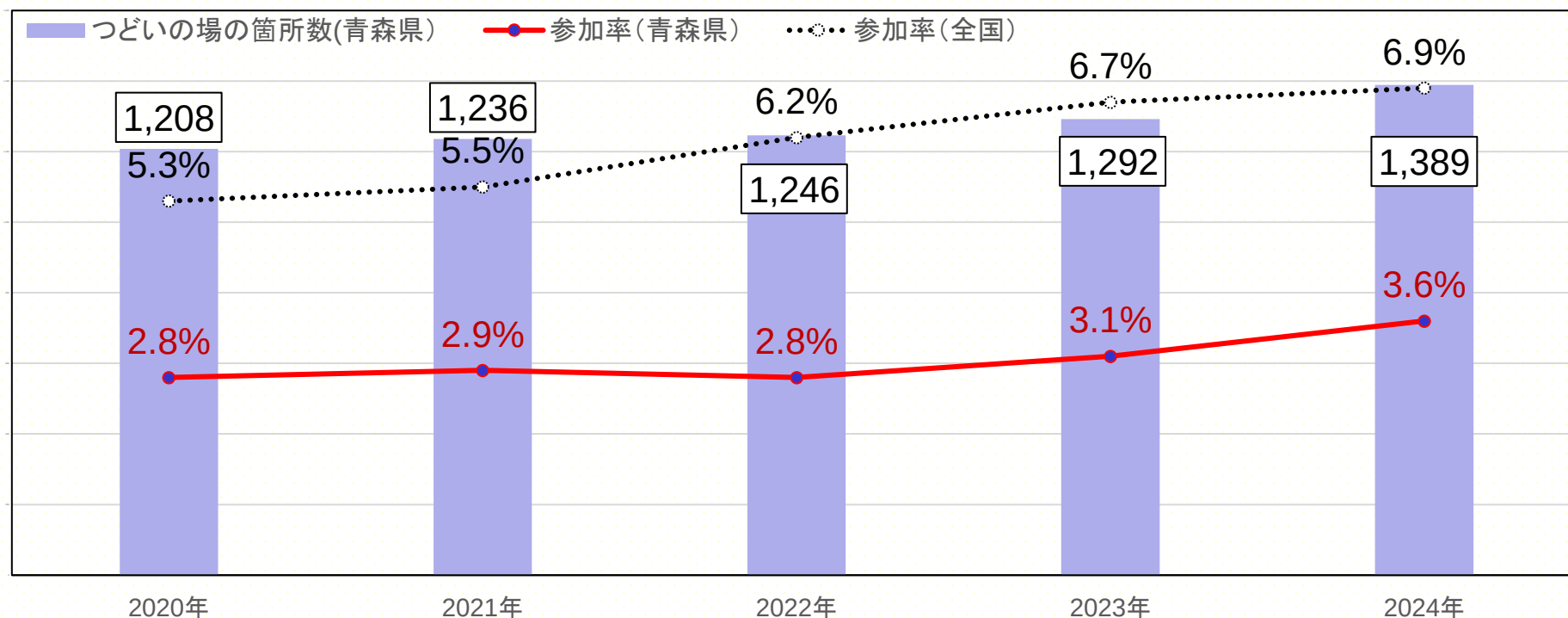
資料 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報

7. 要介護等認定者1人当たりの給付費（月額）

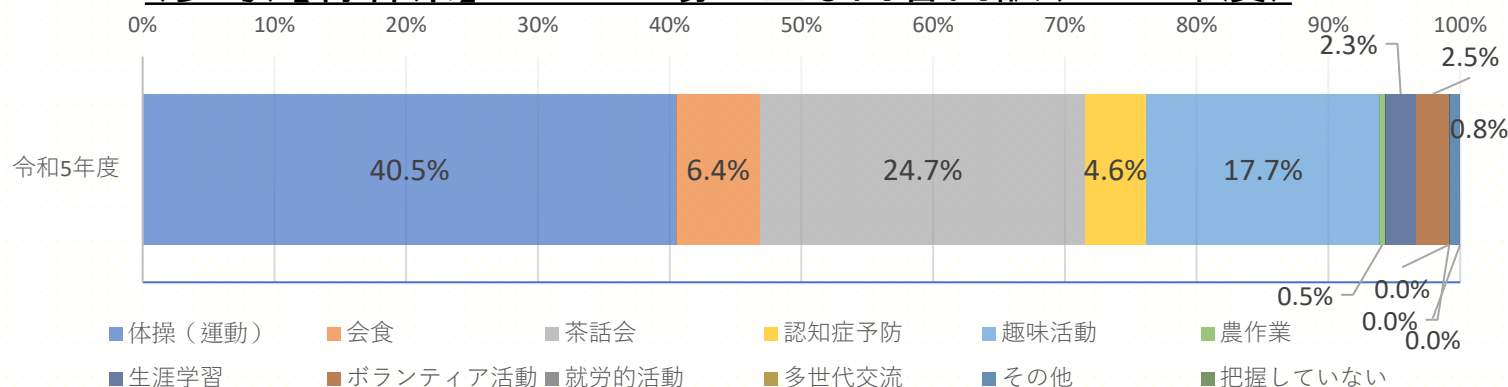
■ 本県の要介護等認定者1人当たり給付費は、要介護3以上で全国を上回る水準



■ つどいの場の箇所数は増加しているが、参加率は全国に比べ低い



(参考)【青森県】つどいの場の主な内容内訳(2023年度)



資料: 令和5年度 介護予防・日常生活支援総合事業(地域支援事業)の実施状況(令和5年度実施分)に関する調査結果

- 生活支援コーディネーター（SC）配置は日常生活圏域に十分行き届いていない
- 市町村を含めた関係者との連携が課題

生活支援コーディネーター（SC）の配置人数と協議体の数（令和8年3月末）

青森県内各市町村	市町村圏域 （第1層）	日常生活圏域 （中学校区域等） （第2層）
生活支援コーディネーター（SC）の配置人数	57	99
（配置市町村数）	（40）	（15）
配置市町村割合	100%	38%
協議体の数	40	81
（設置市町村数）	（40）	（7）
設置市町村割合	100%	18%

資料 高齢福祉保険課調べ

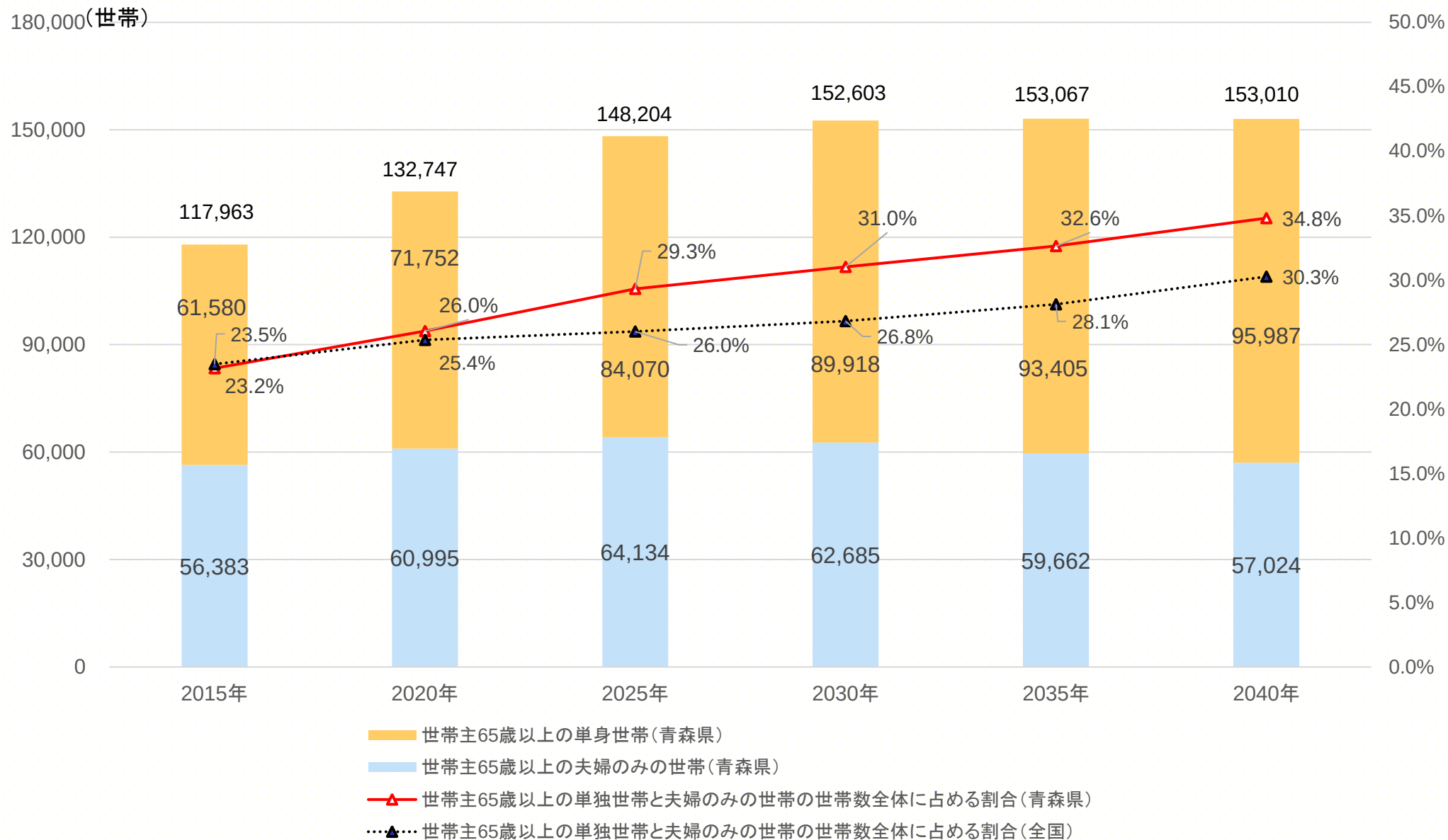
※SCの活動上の課題

- 市町村が目指す方向性とSCの活動のすり合わせが難しい
- SCの活動内容について他関係者に理解してもらうことが難しい

⇒ 市町村を含め、多様な主体との連携を強化していく必要がある

10. 高齢者世帯数の見通し

■ 本県の高齢者のみ世帯の割合は全国以上に増加、特に高齢単身世帯が増加

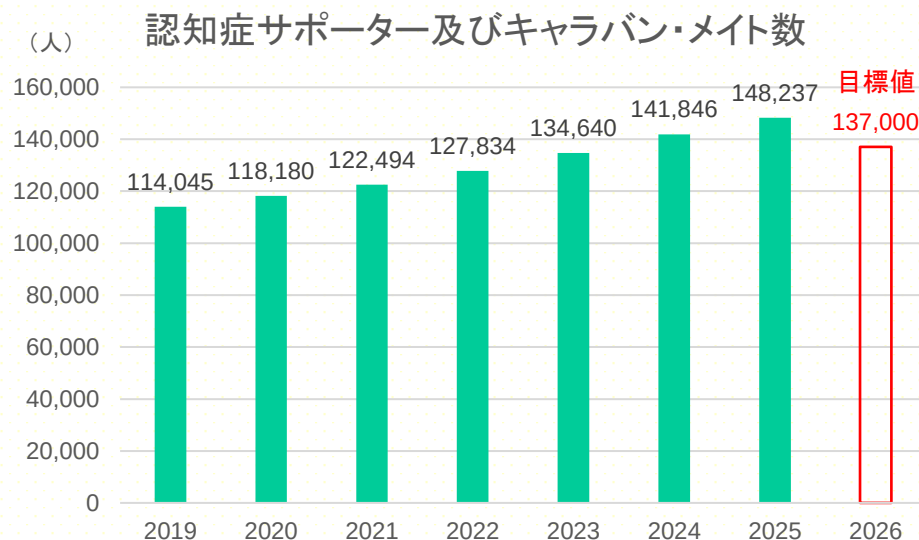
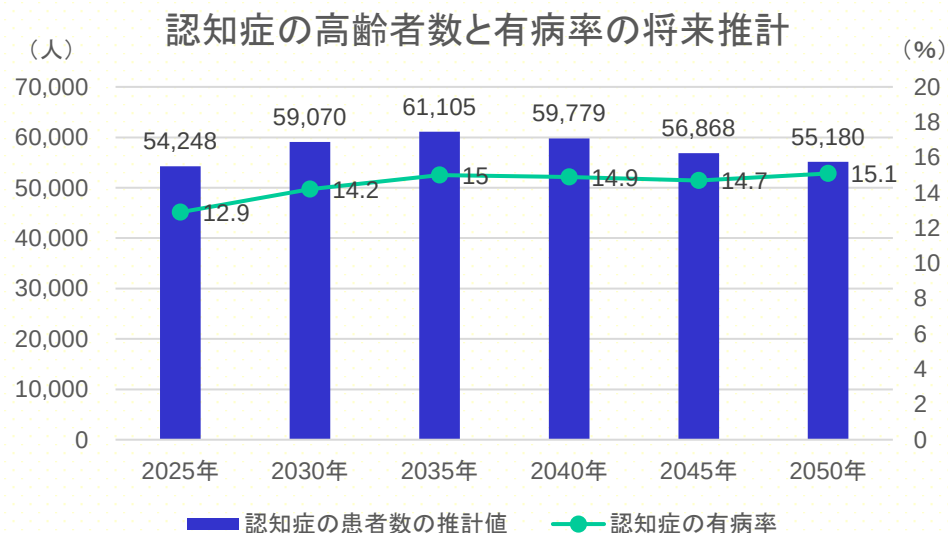


資料 国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(令和(2024)年推計)」

■ 認知症高齢者数は今後も増加見込み

○ 令和6年5月に国が公表した推計値を青森県の推計人口に当てはめると、2030年には約59,000人、2035年には約61,000人になる見込み。

○ 認知症サポーターとキャラバン・メイト数は、年々増加。「あおり高齢者すこやか自立プラン2024」に掲げる令和8年度末における目標値137,000人を前倒しで達成。



※ キャラバン・メイトは、「認知症サポーター養成講座」を企画・開催する講師。

<資料>

① 認知症の有病率

国立大学法人九州大学「認知症及び軽度認知障害の有病率調査並びに将来推計に関する研究」(令和5年度老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業))

② 青森県の推計人口

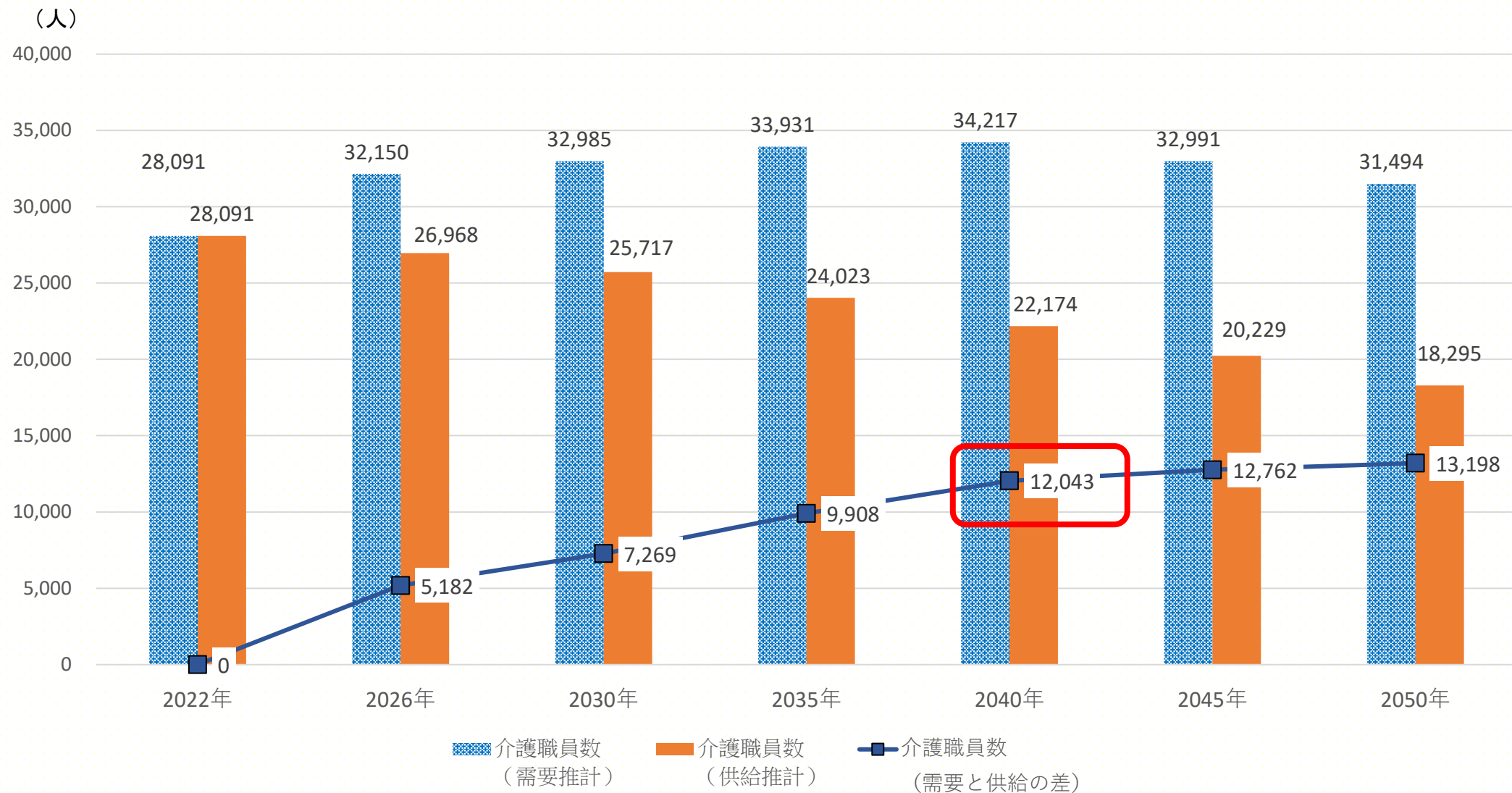
国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口 令和5年推計」

<資料>

特定非営利活動法人 地域共生政策自治体連携機構 全国キャラバン・メイト連絡協議会 調べ

12. 介護職員需給推計

■ 介護職員は2040年に約12,043人不足するとの推計



※厚生労働省が作成した「介護人材需給推計ワークシート」を用いて推計。2022年の介護職員数を基準としているため、グラフ上は2022年の需給数が均衡しているが、実際は有効求人倍率は3.14倍まで上がり、多くの事業所で人手不足と感じている状況。

13. 介護職員の悩み、不安、不満等

■ 本県介護職員の悩み等としては、人手不足や待遇面、心身の負担面が多い

※複数回答

